

# 日本建築学会北海道支部 2008 年度第 1 回常議員会議事録

記録：小澤

日時：平成 20 年 7 月 24 日（木）18:30～19:30

場所：北海道建設会館ビル 支部事務所会議室

出席：支部長：星野

常議員：伊東、佐伯、岩田、長谷川、加藤、大澤、小椋、川村、小澤

代議員：城、向山

監事：武田 総務委員会委員長：菊地 事務局：菊地

小樽シンポジウム担当：星（議題 4 のみ出席）

## 配付資料

前回（2007 年度第 5 回常議員会）議事録(案)	資料 1-1
支部長会議報告	資料 1-2
支部経理報告	資料 1-3
シンポジウム企画案、支部創立 60 周年記念事業	資料 1-4
支部常議員役割担当(案)	資料 1-5
「特色ある支部活動」助成 募集要項	資料 1-6
会長支部訪問役員懇談会次第	資料 1-7
道内工業高校卒業設計優秀作品巡回展	資料 1-8

司会：伊東

## 議事内容

- ・議事に先立って支部長よりご挨拶があった。
- 1 前回（2007 年度第 5 回常議員会）議事録（案）の確認（伊東 / 資料 1-1）
  - ・修正なしで承認された。
- 2 理事会・支部長会議報告（星野 / 資料 1-2）
  - ・公益社団法人化あるいは一般社団法人化のいずれを選択するかについては、10 月頃に方針が見えてくる予定。
  - ・今後は、公益社団法人化あるいは一般社団法人化のいずれを選択した場合でも、新公益会計基準に従った経理処理が必要になる。
  - ・2009 年度の支部予算は、1 月 15 日までに本部にあげる必要がある。例年より 3 ヶ月程早いので注意が必要。
  - ・北海道支部は、予算・決算の承認にあたって、総会の議決が必要と支部規定にあるが、2009 年度予算については、時期的に常議員会の議決にて行わざるをえない。
- 3 2008 年度収入状況・支出状況・収支対応表について（菊地 / 資料 1-3）
  - ・6 月に本部からの経営助成費 183 万円を算入した。
  - ・シンポジウム等収入は、支部研の収入 977,000 円であった。
  - ・6 月の収入は計 228 万円であった。
  - ・6 月会議費の内運営費 18,000 円は、支部研における会長訪問にかかる会議費である。
  - ・現況は、予算案とほぼ同じで変更はない。
- 4 支部創立 60 周年記念事業について（伊東、星 / 資料 1-4）
  - ・60 周年記念事業に支部から支出できる経費合計は、最大 20 万円である
  - ・支出は学術振興基金（特別企画事業費）からとする
  - ・小樽において 11 月 7 日に企画されているシンポジウム企画について、星担当より説明があり、提案の方向で進めることが了承された。今後、必要に応じてメール等で確認しながら準備をすすめる。

- ・ 当シンポジウムに対して、上記 20 万円の内 10 万円を支出することが了承された。
  - ・ 当シンポジウム実行委員については、星担当が候補者案を作製し、支部長が指名する。
  - ・ 支部研における斉藤会長の特別講演会について、録音テープから原稿を作成し、Web 上で公開する。冊子は作製しない。
  - ・ 支部設立後 51～60 年の記録については、今回は記録のみにとどめる。
  - ・ 60 周年記念事業全般については、3 月までにまとめ Web 上で会員に広報を行う。ワーキングを、支部長、常任幹事 4 名、谷口（HP 管理担当）、菊田（HP 管理担当）、星（札幌市）の計 8 名に、必要に応じて随時メンバーを加えたメンバーで行う。
- 5 支部常議員役割担当について (伊東 / 資料 1-5)
- ・ 支部常議員役割担当（案）の通り了承された。
- 6 特色ある支部活動について (星野 / 資料 1-6)
- ・ 応募が年々減少している。特に北海道支部は過去 2 年間未提出なので、是非応募してほしい。応募者は、角学術委員会委員長に 9 月 15 日までに提出する。
- 7 会長支部訪問について (星野 / 資料 1-7)
- ・ 支部研への会長訪問について、資料 1-7 の通り報告があった。
- 8 道内工業高校卒業設計優秀作品巡回展について (佐伯 / 資料 1-8)
- ・ 巡回展予定について、資料 1-8 の通り報告があった。
- 9 後援会依頼について (伊東)
- ・ 以下の 3 件が了承された。  
第 33 回北の住まい住宅設計コンペ、第 2 回日本・韓国国際シンポジウム組織委員会、  
第 2 回日本・韓国国際シンポジウム - 長寿命建造物のためのコンクリート性能向上 2008-
- 10 その他
- ・ HP の委員会ページに一部古い内容が見られる。1 年以内の情報を掲載するために、各委員会において HP の更新を徹底してほしい。(星野)
  - ・ 特定課題研究の応募が少ないことについて、根本的な方策が必要ではないか？専門委員会メンバーに応募を働きかけるなどした方がよいのではないか？(城)
  - ・ 工業高校の卒業設計巡回展に、大学の卒業設計も参考展示してみたらどうか？(城) 受け入れ側に問題はない。意図は理解できるので、数量を限ることができれば工業高校側と検討したい。(佐伯)
  - ・ 学会大賞について、柴田拓二先生を本部へ推薦する場合には、北海道支部と本部の教育委員会との共同推薦としてはどうか？(城) 角学術委員会委員長と相談する(星野)
  - ・ 次回常議員会：10 月 21 日 18：30～

以上